

元気企業
訪問

JA兵庫みらい

イチジクや 山田錦の酒かすという 地元の特産を素材に ようかんを開発



規格外農産物の活用のため 2年前から商品開発に取り組む

三木市東部、小野市、加西市を管轄エリアに持つJA兵庫みらいでは、2年前から規格外の農作物を活用した商品の開発に取り組んでいます。これまでは、サイズが満たなかったり、傷が付いたりして流通に乗らない野菜や果物は自家消費もしくは廃棄するしか道はありませんでした。「規格外の品を有効利用することで、高齢化が進む生産農家のやる気の向上につなげたい。その上で新規参入にもつながれば」と営農振興課の藤原浩一課長は取り組みの狙いを話します。

一昨年には第一弾として、甘長トウガラシやタマネギ、ニンニクなどを使った「マルチドレッシング」が商品化され、昨年は、ユズやシイタケ、トマトなどを使った「具だくさんの野菜ポン酢」を開発しました。その後も「JA兵庫みらいならではの特産品をもっとPRしたい」と、加西特産のブドウ（ゴールドベリーA）や小野特産のイチジク、三木特産の酒米である山田錦を使った商品が開発できないものか模索していました。

事業化の後押しは 製あんメーカーとの出会い

そんな時、6次産業化をテーマにした勉強会で神戸市の松原製館所と出会いました。同社は創業70年近い老舗の製あん業者で、さまざまな果実を原材料に使ったあんこを製造していました。次の素材としてイチジクをピックアップし、提携できる農家を探していたところだったといいます。JA兵庫みらいは同社と組んで「ひょうご農商工連携ファンド助成金」に申し込み、採択されました。「この地にとどまっていると提携できる業者は限られます。松原製館所と出会えたことが事業化の最大の後押しになりました」とJA兵庫みらい営農振興課の小山修平係長は振り返ります。

当初はイチジクをあんにしたパンやまんじゅうを商品化してはどうかという話が出ましたが、あんにすると賞味期限は1週間ほどになってしまいます。議論をするうちに出て

きたのがようかんでした。ようかんなら賞味期限が1年に延びて、廃棄のリスクが減ります。

小野にある営農センターに急きょ作業所を設け、女性組合員の協力を得て、ようかんの材料として使えるようイチジクをピューレに加工しました。16軒のイチジク農家から1トンのイチジクを仕入れ、試作と試食を繰り返した結果、果実に含まれる花がプチプチと口の中で弾けるようかんが完成。「今までにない食感」と好感触が得られたため、今年4月に発売。サンパティオおの、サンパティオおのゆぴか店、三木みらい館、かさい愛菜館の4つの直売所で販売したところ、用意した600本はあっという間に売り切れました。



「いちじくようかん」「山田錦酒粕ようかん」に続く新商品の開発も進めています

品数を増やそうと、次に素材として選んだのが山田錦の酒かす。イチジクと比べ酒かすは味にくせがあるので、香りがあまり出過ぎないように、細かく練り込みました。8月に1,500本を製造し発売しましたが、こちらも売れ行きは好調です。

イチジクは今収穫の最盛期を迎え、今年度はようかんを3,000本製造する予定です。イチジク農家は高齢化が進んで生産者の平均年齢は70歳を超えています。今回の取り組みの成果が出たのか、新規就農者が3軒増えました。「事業として利益を出せれば

もちろんいいのですが、ブランドの認知に寄与し、後継者が増えていくことが大きな目標」と藤原課長。今後は、ブドウなどを使った商品の開発に着手するとともに、贈答用にようかんをセット販売したり、ネット上で販売したりするなど、さらに力を入れていく予定です。

組織概要
JA兵庫みらい

所在地 加西市玉野町1156-1
代表理事組合長 稲葉洋
事業内容 営農経済事業、信用事業、共済事業

TEL 0790-47-1255
URL <http://www.hyogomirai.com/>

支援メニュー講座

ひょうご農商工連携ファンド助成金

中小企業者と農林漁業者が連携した、 新商品、新サービスの開発を応援します。

制度概要

「ひょうご農商工連携ファンド」助成事業では、県内の農林水産物などの地域資源を活かした、中小企業者と農林漁業者等の連携による新商品・新サービスの開発の取り組みについて支援を行っています。

この助成事業により、魅力ある農林漁業ビジネスや市場ニーズに適応した新商品の開発を実現し、事業者の収益拡大に貢献するとともに、地域経済の振興を図ります。

メリット

- 商品開発に対して、500万円を限度とした助成金の交付が受けられます。
(対象経費：原材料費、加工費、機械装置費、デザイン料等。ただし、助成率は、対象経費の3分の2以内)
- 中小企業者と農林漁業者が連携することで互いの強みを活かした商品開発が可能となり、新たなビジネスチャンスが広がります。
- 助成期間を最大2年間設けていますので、開発計画に合わせて事業期間を自由に設定できます。
- 助成事業については、兵庫県とひょうご産業活性化センターが共同してPRを行います。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター経営強化部新事業課 TEL 078-230-8110